

第5回過疎集落研究会 議事要旨

1. 日時 平成21年3月26日(木) 13:00~15:00

2. 場所 国土交通省 中央合同庁舎3号館4階特別会議室

3. 出席者(敬称略、50音順)

座長: 小田切徳美

委員: 寺澤健治、広瀬敏通、深井正、前田和彦、山本信次

4. 議事

- (1) 研究会のとりまとめについて
- (2) 参考資料
- (3) 自由討議
- (4) その他

5. 議事概要 主な意見は以下のとおり

- ・ 地方財政の現状について、自己責任論ではなく全体の制度改革の影響についてもふれてほしい
- ・ 非効率なので過疎集落から撤退するという理屈ではなく、現に集落で暮らしている人たちがどのように幸せになれるかという観点が必要ではないか。
- ・ アンケート調査結果の、生活する上で困っていることについては、年代別に表示すればより集落の実態がわかりやすいのではないか。
- ・ 地域の拠点施設については具体例を盛り込むなど、全体的により具体的に記述する必要があるのではないか。
- ・ 過疎集落の教育環境の実態は相当深刻であり、もう少し踏み込んで記述できないか。
- ・ 人材育成は重要であるが、その後方支援を行う制度と組織が必要である。集落支援員を専門家にしていく仕組みや人材の配置も検討すべき。
- ・ 過疎集落対策の検討単位については、人口の基準だけではなく、資源の活用という観点から資源構成や面積規模も要素として必要ではないか。
- ・ 林業について、ビジネスとしての林業と集落の生活に密着した林業とは別物であるが、同時に両者の結びつきを見えるようにする取り組みが必要である。
- ・ 行政の役割については、基礎的自治体の役割は明確であるが、広域的自治体や国の役割についてももう少し整理する必要があるのではないか。